

ストップモーションを用いた学科紹介

研究者：中屋 岡田

1 はじめに

今年の文化祭に訪れた方に、情報技術科で学んでいることを知ってもらえるものを作りたいと思った。

そこで、ただ学科紹介をやるのでは面白くない、立ち止まって見てもらえないと考えた。そのため、私たちはストップモーションを用いた学科紹介にした。

2 研究概要

興味を持って、動画を流して、立ち止まって見てもらえるように、ストップモーションの作成をすることにした。

ストップモーションとは、対象となるものを少しずつずらしていきコマ撮りし、撮影した静止画を連続して繋げ再生した動画のことである。私たちは、コマ撮りの対象としてレゴブロックを用いた。

3 研究過程

- 4月 : 構成作り
- 5月 : 絵コンテの作成
- 6～7月 : ストップモーションの撮影練習
- 8～9月 : ストップモーションの撮影本番
- 10月 : 動画編集
- 11月 : 文化祭発表
- 12～1月 : 資料の作成と発表

4 研究成果

(1) ストーリー作りと絵コンテの作成

ストップモーションを制作するに当たってストーリー作りと絵コンテの作成を行った。初めにこの2つのことを決めることにより撮影をスムーズに行うことができた。

絵コンテとは、それぞれの場面ごとの画面構成を絵で表したもので、映像の流れを分かりやすく具体的に示したものである。

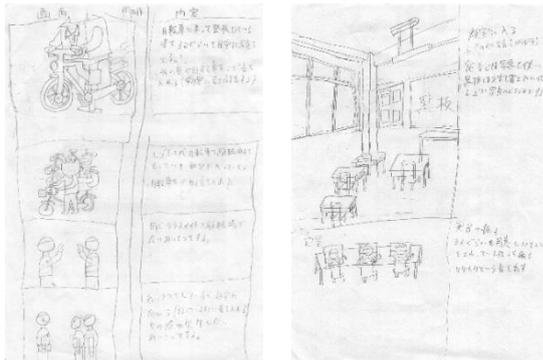


図1 実際に描いた絵コンテ

■動画の構成

- ① 登校の様子
- ② ムービーのスタートとなるもの
(予定) 朝のSHRのようなもの
- ③ クラス全員での教科 (予定) 数学
数学…問題を生徒が解いている様子
- ④ 工学 (進学) の授業 (候補) 物理 or 英語
物理…実験 (授業内で行ったものより選択) をしている様子
英語…ペアでの朗読の様子
- ⑤ 情報 (就職) の授業 (予定) 電子基礎
電子基礎…未定
- ⑥ 実習 or 課題研究
実際に行った内容から選択 (情報科らしいものを優先)
- ⑦ 下校の様子

所要時間... 3～5分 / 必要コマ数...4000～7500枚 (1秒間に20～30枚)

(2) ストップモーションの撮影練習

私たちは、スマートフォンを用いて撮影をすることにした。ストップモーションの撮影練習として、レゴの人形を使って歩く動作や、人形が文字を書く動作などの動画を撮影し、本番でスムーズに見てもらえるように試行錯誤をした。

また、レゴの人形がものを持つ動作などは、Youtubeで公開してある動画を参考に練習をした。



図2 ストップモーションの練習風景

(3) ストップモーションの撮影本番

本番の動画を作成するに当たって、動画の再生速度の調整できたり、ミスした際に写真の挿入ができたりする「ストップモーションスタジオ」というアプリを使用した。

撮影しているときに、1枚1枚が動画になるのでブレないようにした。また、撮影中に日光や照明による明るさの差や陰が生まれないように、撮影する位置を固定した。



図3 撮影の様子



図4 撮影した写真の一部

(4) ストップモーションの編集

編集では、文字の挿入やBGMを加えることができる Inshot というアプリを使用した。

編集をする際は、無駄にテロップを入れすぎるなどをして作品のバランスが崩れすぎないように気をつけた。



図5 アプリを使用編集

課題

今回作成したストップモーションでは2つの課題が残った。

1つ目は、動画の中で視点の切り替える工夫ができなかったことである。これを行うことにより、場面ごとの主役が生まれるので視点を切り替えるとよかったと考えられる。

2つ目は、人形の表情を変えることである。レゴブロックの人形には多くの顔パーツが売られている。顔の表情を変え、感情の表現をできるようにするとよかったと考えられる。

成果

今回の研究によって、文化祭の発表会の中で見てくださった方々から「すごかった」や「どうやって作ったの」などの評価や興味をもって頂くことが出来た。

また、動画を作成していく中で、見る人の気持ちやどのような動画を見たいかを考え、動画を見る人が見やすくわかりやすいものを作ることが出来るということを知った。

6 感想・反省

【中屋】

今回ストップモーションを行う中で細々とした作業がいくつも続いてしまい集中力が切れてしまったり歩く動作をさせる際に同じ足を出している場面を連続で撮影したりとミスが出てしまい大変でしたが、その分他では感じる事の出来ない達成感を感じる事が出来ました。

文化祭の発表では、前を通る際に軽く見る程度で立ち止まってまでみたいと思っていただけのおもしろみのある作品にできなかったため何人かは立ち止まらずに行ってしまいました。そんなお客さんも立ち止まってみたいと思えるような作品を作れるように今回学び身につけたことをうまく生かし扱っていけるようにし、次の機会はより良くしたい。

【岡田】

今回の研究では、ストップモーションを用いて情報技術科の動画を作成しました。初めは何から始めれば良いのか分からずできるのか不安でした。また、だいたい1200枚の写真撮影し、1枚1枚撮影した写真の確認をしなくては動画にした時ブレが生じるので苦労した。しかし、確認をしても時間がたつにつれて僅かなブレができてしまったり、撮影者の陰が映ってしまったりしたので撮り直しが大変だった。

文化祭に展示したときは、多くの人が見てくださりとてもうれしかったし、1つの作品を作ること達成感を味わうことができました。